

東京都立中央図書館長

西海 哲洋  
さいかい てつひろ



豊島区の図書館は私の思い出の場所です。浪人時代、大塚の予備校の帰りに、巣鴨の図書館でカレーを食べながら友人と夢を語るのが定番でした。時を経て、私がこのように巻頭言を書かせていただくまで、感慨深く感じておりました。

この「図書館通信」は、平成19年、豊島区立中央図書館が東池袋のライズアリーナビルに移転オープンしたときに創刊されたと聞いています。移転オープン以来、中央図書館は、同じビルに併設する劇場「あづるすばっく」との連携事業の実施、平成20年の「図書館サミット」の開催や「Cタグ」による図書の管理など、

## 『図書館通信』第50号の発刊に寄せて

図書館のサービスに新たな風を吹き込む存在として、他に大きな影響を与えてくださっています。

さて、私が館長を務める東京都立中央図書館は、区市町村立図書館と連携協力し、資料の協力貸出や職員研修の実施といった様々な支援を図ることにより、都内の図書館サービス全体の向上を目指しています。近年の図書館は住民の学習や読書のニーズに応えるだけでなく、地域の活性化・まちづくりの拠点としての役割、例えば、図書館の蔵書を活用し地域の活動や課題解決につなげる取組などが期待されています。豊島区におかれても、商業と文化芸術の集積地でもある池



# と し ょ か ん こ う し ん と 書 館 通 信

## 館 通 信

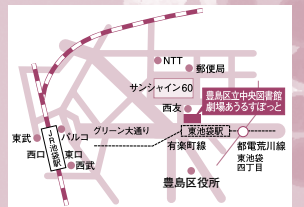
第50号  
季刊(秋)  
2018



### トピックス

- 巻頭言 東京都立中央図書館長 西海 哲洋・・・1ページ
- こらこらコラム ほほ口の学校長／編集者 河野 通和・・・1ページ
- 図書館と私 豊島区教育長職務代理者 樋口 郁代・・・2ページ
- 生涯の一冊 エイベックス株式会社 半谷 静香・・・2ページ
- この本カフェ・・・2ページ
- 豊島区とマンガ とま南長崎トキヲ協賛プロモーション協議会 小出 幹雄・・・3ページ
- 読を観る映像・舞台原作の世界 立教大学兼任講師 後藤 隆基・・・3ページ
- 図書館イベント情報 図書館カレンダー・・・4ページ

発行 ●豊島区立中央図書館  
東京都豊島区東池袋四一五一一  
ライズアリーナビル四階・五階 〒170-0844  
電話 ●03-3983-7861  
FAX ●03-3983-9904  
ホームページ ●http://www.library.toshima.tyko.jp/  
発行日 ●平成30年10月



## 新航路【47】

本年6月21日に、「公益社団法人日本芸能実演家団体協議会」(以下「芸団協」という) から、古典芸能・演劇等に関する図書資料約4,200冊をご寄贈いただきました。段ボール箱129箱分と、その資料の多さがおわかりいただけるでしょうか。

この寄贈図書・文学書は歴代の芸団協の会長や関係者がコレクションしてきたもので、俳優・声優の久松保夫氏の旧蔵書である木偶坊(てくのぼろ) 文庫、歌舞伎俳優の六代目中村歌右衛門氏の旧蔵書である中村文庫、日本演奏連盟常任理事をつとめられた西宮安一郎氏の旧蔵書である西宮文庫、早稲田大学教授であった佐口卓氏の旧蔵書である佐口文庫、日本俳優連合理事をつとめられた佐々木孝丸氏の旧蔵書である佐々木文庫、俳優の浜村純氏の旧蔵書である浜村文庫などがそろっています。そのなかには、現在では

## 古典芸能・演劇に関する資料がますます充実します

手に入らない貴重な演劇・文芸関係の文献も含まれています。

芸団協の会長は、皆様ご存じの野村萬氏です。野村氏は、狂言方泉流能楽師であり人間国宝(重要無形文化財 狂言保持者)、日本芸術院会員、文化功労者、そして豊島区名誉区民であり、豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会の顧問でもあります。その野村氏から「舞台関係者だけでなく、舞台芸術を学ぶ若い世代にも手に取って役立ててほしい」と伺い、大切な文化として活かしていきたいと考えています。

現在は、書誌データの付設、装備、目録の作成等を行い、来年度には区内図書館での閲覧・貸出を予定しています。その前に一足早く、中央図書館で貴重な資料の一部をご覧いただく特別展示を計画しています。皆様どうぞお楽しみに。

## こらこら コラム

### 第6回 第100回の重み

ほほ口の学校長／編集者 河野 通和

夏の甲子園は私の生い立ちにふかく関わっている、といっても何のことちゃ、と思われるかもしれませんが、いまを去ること65年前。私の出産予定日が間近に迫っているというのに、不安げな母の様子には「お構いなし」に、父がラジオから流れる高校野球決勝戦の実況放送にかじりついていったというので。

当時の新聞を調べてみました。1953年8月20日の決勝戦は、北四国代表の古豪・松山商(愛媛)と南四国代表の新鋭・土佐高(高知)の四国勢対決でした。試合時間3時間20分。延長13回の熱戦を制したのは、松山商でした。愛媛がルーツの父親ですから、夢中でラジオを聞いていたのも無理はありません。初回到土佐高がいきなり2点を取り、8、9回で松山商が追いつき、戦後初の決勝延長戦に入ります。13回表に松山商が1点リードすると、その裏土佐高はなんと先頭打者が3塁打を放ち、無死3塁。その後2死2、3塁と攻め立てます。気が気ではなかっただろうと思います。

結果は3対2で、松山商が3度目の優勝を飾りますが、初出場土佐高は純白のユニフォームが目にもまぶしく、毎回、攻守交代の際にベンチに戻るまで全力疾走! その清々しい姿は大観衆を魅了し、「優勝旗なき優勝校」とまで称賛されました。球史に残る名勝負だったのです。

翌日早朝、私は無事に生まれました。そして、毎年8月21日の誕生日が近づくと、自分のことはそっちのけでラジオに魂を奪われていた父を皮肉ることが、母の恒例になりました。その甲子園大会を、今年は初めてスタンドで観戦しました。猛暑、酷暑が不安視された大会ですが、独特の熱気とパワーに圧倒されました。第1000回記念大会——100という数字の重さは別格でした。本通信は50号この由、節目は、新たな種をまく好機でもあります。

- 1959年 北海道生まれ
- 1984年 東京都教育庁(奥多摩町立日原小学校 入部)
- 2014年 衛生局、総務局、スポーツ振興局等を経て、主税局総務部長
- 2016年 産業労働局理事(株式会社東京国際フォーラム常務取締役)
- 2018年 教育庁次長(東京都立中央図書館長事務取扱)

# 生涯の一冊 (49)

オリンピック・パラリンピアン編



「風になった日」  
高橋尚子／著  
幻冬舎 2001年

エイベックス株式会社

半谷 静香 (はんがいきしずか)

福島県いわき市出身。美味しいご飯と面白い本、あらゆるスポーツと柔道が好き。先天性の弱視のため、音声図書を利用して読書をし、視覚障害者柔道に取り組んでいる。ロンドンパラ・リオパラ出場。東京パラを目指している。



私の趣味は読書。私と読書の出会いは、小学生の時だったように思います。友人が読書好きだった事もあり、私も話題の本を読むようになりまし。しかし、幼少期より弱視だった為、本を読むにはとても苦労しました。次第に活字から離れ、読みたい本も断念していました。  
こんな私が、なぜ読書が趣味と言えるようになったかという、音声図書との出会いがあったからです。  
この出会いは、私の生活を激変させました。音声なので場所を選ばずに、家事をしながらでも読める(聞ける)為、毎日の生活に欠かせないペースで読書がはじまりました。

## 競技ができる幸せ

今まで読みたくても読めなかった本や知人から紹介された本を次々に読みました。  
ハリウッドでは、魔法の世界で起る出来事が細かく、巧みな言葉づかいで表現されており、夢中になりました。東野圭吾さんのガリレオでは、難解なトリックが湯川教授の手で明らかになっていく様は、展開が予想できず、驚きの連続です。他にも、『夢をかなえるソウ』『ノー・理論』『鏡の法則』『七つの習慣』といった本は、私の思考にプラスの影響を与えてくれました。その中でも、私の生涯の一冊は、高橋尚子さんの『風になった日』です。高橋尚子さんは2000年、シドニーオリンピック金メダリストのマラソン選手です。

『風になった日』は、高橋尚子さんの陸上の歩み、恩師である小出監督との出会い、日本代表決定までの苦悩や、シドニーオリンピックでのライバルであるシモンさんとの駆け引きなどが詳細に書かれています。  
特に私の印象に残っているものがあります。一大好きなマラソンができて、多くの人に応援してもらえ、私はとても幸せです。  
この言葉は、どんなに辛い練習でも笑顔で乗り越え、周囲への感謝の気持ち、競技ができる喜びを忘れなかったからこそ、言える言葉と感じました。私も視覚障害者柔道で世界に挑戦しています。高橋尚子さんのように、競技ができることが幸せであることを周囲の人に伝えられるよう、努力していきたいと思えます。  
最後に高橋尚子さんの座右の銘を記載します。花の咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせやがて大きな花が咲く。



# 図書館と私 36

豊島区教育長職務代理者  
樋口 郁代

【プロフィール】  
豊島区図書館経営協議会委員、明星大学特任教授、元都内の統括校長、東京都及び区市教育委員会の教育行政に携わる。



## 温故知新

「ねえ、ばたぼん」と、まりーちゃんが羊のばたぼんに問いかける、優しきフレインとかわいい挿絵で夢を語り合う『まりーちゃんとひつじ』の絵本が、私は大好きだった。両親は、時間があると子供たちを膝に乗せ絵本を読んでもくれた。セピア色の写真がその事実を物語っている。私と本との関わりの原点は、絵本であったと確信している。

小学校に入ると、夏休みの宿題のひとつである読書感想文を書くことも、一大イベントとなった。低学年時に書いた『ニルスの不思議な旅』で賞を取り、副賞に分厚い物語全集をいただいたことも忘れられない。中学校では、読書好きとは言い難かったが、『十五少年漂流記』にワクワク、ドキドキし、『路傍の石』をはじめとする山本有三の本を読み進めた。

定年最後の勤務先では、学園独自の推薦図書136冊を児童・生徒や保護者の意見を得ながら教職員と共に選定し、児童・生徒が描いた挿絵と紹介文をまとめたオリジナルの紹介冊子を作

成した。義務教育9年間を通してその学園を卒業したら、全員が最低136冊を読破しそれを契機として本に親しみ、言語感覚や思考力を磨き、想像力と世界を広げて豊かな心を一層深めてほしいと、願いを込めた。

今後、先を予測することが一層困難な時代であると言われる。次の新しい社会の姿として呼ばれるSociety 5.0(超スマート社会)の到来に伴い、その社会像・求められる人材像、学びの在り方を考えた時、『\*文章や情報を正確に読み解き対話する力、\*科学的に思考・吟味し活用する力、\*価値を見つげ生み出す感性と力、好奇心・探求力』が必要となる力であると指摘されている。私は、これらは読書の中に宝物のように在ると思つた。だからこそ、子供の時代から生涯にわたって本に親しみ、可能性の開花と成長につなげたい。

まりーちゃんが語りかける私の原点を思い出し、そうだ! 図書館に行ってみよう。



図書館通信50号刊行を記念し、皆さんに贈りたい本を選びました。どの作品も、生きる上での大切な「何か」を教えてください。その「何か」は人それぞれですが、本はそのたくさんの「それぞれ」を教えてください。何よりも皆さんへ今一番贈りたいのは、「この本カフェ」コーナーのあるこの図書館通信50号です。

今回のテーマ

15 杯目

## 記念に贈りたい本



### 書名『夜と霧』

ヴィクトール・E・フランクル／著 池田香代子／訳 みすず書房 2002年

作者は、強制収容所から奇跡的な生還を果たした、ユダヤ人の精神科医。本書は、ナチスの過酷な環境下でも奪うことのできない、人間としての「生きる希望」を問うたものである。「生きる希望は「自分を待っているもの」に支えられている」という。待つ人を思うことで、今の苦しみにも耐えることができると。換言すれば、待つてくれる人に対して自分が何かを「与える」ことができると信じ、その責務を果たそうとする力こそ、生きる希望なのだろう。

本書を読めば、人生観がきっと変わる。その記念日が貴方の人生の節目であるならば、この本をぜひ贈りたい。 ☞【古清水 厚(こしみずあつし)】



### 書名『恋歌』

朝井まかて／著 講談社 2015年

「君にこそ 恋しきふしは習いつれ さらば忘ることもをしへよ」。歌塾、萩の舎を主宰し樋口一葉の師として知られる明治の歌人、中島歌子の一首です。

歌子は水戸藩天狗党の林忠左衛門に嫁ぎ、幕末の水戸藩の混乱、天狗党、諸生党の悲惨な藩内抗争に巻き込まれました。その半生を描いた物語が本書です。明治維新から150年になる今年、この時代に興味のあるあなたへ、西郷、龍馬などの志士が活躍した陰にこのような物語があった事を教えてください。第150回直木賞受賞作家のこの1冊を贈ります。 ☞【鎌田 和枝(かまたかずえ)】



### 書名『おばあちゃんのたんじょう日はこ』

シャロン＝ベル＝マティス／作 ダイアン・ディロン／絵 レオ・ディロン／絵 中村妙子／訳 偕成社 1979年

マイケルは両親と百歳になったデューおばあちゃんと暮らしています。おじいさんからの贈り物の銅貨が入った箱は、おばあちゃんの宝物。おかあさんはこの古びた箱をきれいな新しい箱にとりかえようと思いますが、マイケルはおばあちゃんの味方となり、それに大反対。おばあちゃんの歴史と思いが詰まった木箱を守った時、マイケルは自分の強さに目覚めるのです。

一人一人が受け継いできた過去の記憶を子ども達に伝えていく大切さをおこさせ一冊です。 ☞【高橋 和子(たかはしかずこ)】



寄稿者とはしまコミュニティ大学の学習者の内、登録して学んでいる「マナビト生」です。マナビトゼミ担当の人類学者佐藤 杜広氏の指導のもと、毎回テーマに合わせて文学、児童書、評論や科学などの分野からお薦め本を1冊紹介しています。

# 豊島区とマンガ

(全四回)

## 第三回 小熊秀雄とプロレタリア漫画家たちの功績

としま南長崎トキワ荘 協働プロジェクト協議会 小出 幹雄

### 児童漫画の改革者・小熊秀雄

前回は、豊島区に関わりのある漫画家たちが大正時代から続く児童漫画の系譜を形成してきたこと。そして手塚治虫のSFマンガの原点といえる『火星探険』の原作者も長崎アトリエ村に住んだ小熊秀雄だったことなどを紹介しました。

残念なことに、その小熊は、昭和15(1940)年に豊島区千早で39年の短い生涯を閉じます。詩人で童話作家、画家でもあった小熊は、最晩年になって良心的な児童漫画の出版社・中村書店の編輯(へんしゅう)顧問となり、旭太郎(あさひたろう)のペンネームで自ら漫画の台本も書きました。出版年代順でいうと、『火星探険』と同じ没年発行の『火打箱』『トモ新聞社』『コドモ海洋丸』『翌年の『勇士イリヤ』とそれぞれ性格も異なり、科学知識や世界地理に詳しくないと書けないような内容の濃いものばかりでした。図書館にすら行けない病床で資料はおぼつかないなかこの凄まじい仕



『火星探険』 旭太郎/作 大城のぼる/画 小学館クリエイティブ 2005年

事ぶりは、当時の児童漫画の文化水準の低さに対する小熊なりの抵抗とも言えますが、その天才がなせる業としか思えません。幸い『火星探険』は、晶文社(1980年)と小学館クリエイティブ(2005年)から復刻され、他の作品は、2005〜6年に全4巻に分けて創風社から復刻されました。もちろん豊島区立中央図書館の地域資料コーナーなどで閲覧できます。

### 小熊秀雄と芳賀たかし

小熊を中村書店で紹介したのは、長崎町大和田(現南長崎2丁目)にあったプロレタリア美術研究所5期生の芳賀たかしでした。芳賀は、小熊の『火星探険』に先んじてその前年に、『人類物語』坊やの密林征服』を同書店から出しており、翌年からは『愉快な子熊』『ぼくらの燈籠』『野豚物語』そして絵物語の『5少年漂流記』を發行(全て中村書店)しています。なかでも『愉快な子熊』が文部省推薦となったことは、プロレタリア美術運動の影響下にあった芳賀の作品としては驚きです。同研究所で漫画などの講師もしていた岩松淳(八島太郎)、柳瀬正夢、岡本唐貴、須山計一らが風刺漫画に注力していた時期に、児童漫画の創作に傾倒していた芳賀は、少年期に『赤い鳥』の愛読者だったそうです。昭和3(1928)年に上京後しばらくは自分でストーリーを作りながら紙芝居で生計を立てていたこともあり、子供たちに情濃豊かな漫画を描きたいという意欲が強かったのでしょう。この芳賀の中村シリーズも全作品が創風社から小熊の傑作集と同時期に復刻され



『少年小説大系 別巻3少年漫画傑作集1』(三一書房1993年)に、『人類物語』坊やの密林征服』(芳賀たかし)も復刻収録され、読むことができる。

ています。また、芳賀は宮城県石巻出身で、石巻「石ノ森萬画館」のライブラリーでも芳賀の漫画が読めます。

### プロレタリア漫画家たちの多様な功績

黒沢明も通っていたというプロレタリア美術研究所は、それから約20年が経過し戦後にトキワ荘が建てられた場所から奇しくも200メートルと離れていませんでした。研究所には漫画の講座もあり、その講師陣は皆、一流のタプロウ画家でもありました。昭和9(1934)年のプロレタリア美術家同盟の解散によって自然消滅したであろう同研究所ですが、翌年には本同盟出身者などが、風刺画研究会、小熊も参加したサンチヨクラブという会を結成。両団体メンバーの多くも参加していた日本漫画研究会の発行する機関誌『漫画の國』は、国内外の進歩的漫画家の作品紹介や漫画論を掲載するなど、漫画家養成に大きな役割を果たしました。また、柳高の検挙による拘留を繰り返しつつも、柳瀬や松山文雄らのように、新聞漫画の他に『東京パック』や雑誌『コドモノクニ』『子供之友』にも優れた漫画や童画を描き、多岐に渡り活躍していたものもいました。

大正末期の新興美術団体「マウオー」では柳瀬と、サンチヨクラブでは小熊、松山らの同人でもあった村山知義は、母が婦人友社に勤めていた縁もあって『子供之友』の主要画家となり、自由学園で昭和6(1931)年にアニメーション『三匹の子熊さん』を上映、日本のアニメ史上特筆すべき作品となりました。

いよいよ最終回は、戦後もトキワ荘へ続く児童漫画の様々なムーブメントが豊島区にあったことを紹介させていただきます。

#### 〈著者プロフィール〉

1958年、旧椎名町生まれ、トキワ荘記念施設置実行委員会、トキワ荘通り協働プロジェクト協議会の事務局長歴任後、現在、としま南長崎トキワ荘協働プロジェクト協議会広報担当、NPO法人日本マンガ・アニメトキワ荘フォーラム理事

## 映像・舞台原作の世界(全4回)

読んで観る!

### (第3回) 歌舞伎は異文化?

立教大学兼任講師 後藤 隆基

古典は「ワカラナイ」もの。そんなことを思っています。そもそも言葉がワカラナイ。時代背景やその当時の人びとの生活、環境、感覚もワカラナイ。それらを少しでも理解するために、一生懸命勉強するわけです。

大学の授業で歌舞伎を扱ったことがあります。日本の古典芸能といわれている、あの歌舞伎です。おぼろげなイメージで歌舞伎を知っている学生は少なくありません。ただ、観たことがある人は? と聞いた途端、激減します。舞台は観なければわからない。でも切符代が高いからなかなか行けない……。どうやって歌舞伎のことを伝えたいかなあと悩んでしまいます。

私たちは、日本以外の国や地域に対して空間的な距離を感じます。一方で古典は、現在との間に時間的な距離があります。言葉、生活習慣、風習、環境、社会構造なども含め、その二つの距離は同じように「今の私」から離れている。外国が異文化としたら、古典も異文化。どちらの「異文化」と「コミュニケーションをとる」場合にも、やっぱり勉強が必要です。それ以前に興味をもつて、はもちろんです。

歌舞伎だって、最初はわからなくてもいい。何かひとつでも引っこかりを見つけて(この役者さん素敵!とか)何度も観る。寝たつてかまいません。薄暗い劇場、座り心地のいい椅子、呪文のようなせりふ……。安眠の条件は揃っています(失礼!)。歌舞伎も異文化同様、数ある約束事を勉強しながら幾度も劇場に足を運ぶうちに、ふと何かがわかる瞬間に出会えるはず。

近年『ワンピース』や『NARUTO』などマンガ原作の歌舞伎が上演され、賛否両論ありますが、異文化に触れるための入り口としては大切なこととも感じます。国際アートカルチャー都市構想を推進している豊島区はマンガとアニメを柱のひとつに掲げていますから、まもなく池袋に誕生する「ハレザ池袋」で、異文化を架橋するような歌舞伎が生まれたら、歌舞伎という異文化へ入っていく間口が広がるような気がします。

#### 〈著者プロフィール〉

立教大学兼任講師、日本女子大学、川村学園女子大学非常勤講師。専門は近現代日本演劇・文学・文化。著書に『高安月郊研究―明治期京阪演劇の革新者―』(洋書房、2018)ほか。



『ちやぶ台返し』の歌舞伎入門』(矢内賢二著 新潮選書 2017年)は、入門書としておすすめです。

# 図書館イベント情報



- 中央図書館 3983-7861
- 池袋図書館 3985-7981
- 駒込図書館 3940-5751
- 目白図書館 3950-7121
- 巣鴨図書館 3910-3608
- 千早図書館 3955-8361
- 上池袋図書館 3940-1779
- 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

★…児童・あかちゃん向け ☆…文字・活字文化の日スペシャルおはなし会 ●…一般向け

毎週、本の読み聞かせなどのイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	10月	11月	12月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 14:00	最終日曜日 10:30 11:30	★7日・おはなしこうさく会 14:00~14:30 ☆21日・おはなし会 14:00~14:30	★4日・おはなしこうさく会 14:00~14:30 ★17日・豊島岡女子学園おはなし会 14:00~14:30 ★25日・おはなし会(虹のポケット) 14:00~14:30	★9日・0・1・2冬のスペシャルおはなし会※ 11:00~11:30 ★16日・冬のスペシャルおはなし会※ 14:00~15:00
駒込図書館 こまちゃんのへや (※印は創造館)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00※	☆20日・おはなし会 14:30~15:15 ★25日~27日・ぬいぐるみおとまり会		★15日・おはなしのはこクリスマススペシャル※ 14:30~15:30
巣鴨図書館 地下会議室	水曜日 15:30	第3火曜日 11:00	☆17日・手話つきおはなし会 15:30~16:00	★28日・ほんのじかん こうさく会 15:30~16:00	●9日・ポップアップカードを作ろう ①13:00~14:00 ②15:00~16:00 ★12日・ほんのじかん冬のスペシャル 15:30~16:00 ★18日・おはなしびよびよ冬のスペシャル 11:00~11:30
上池袋図書館 おはなしの部屋 (※印は地下ホール)	水曜日 15:00	最終水曜日 11:00※	★13日・きみも運転手!ダンボール電車※ 10:00~11:30 ●14日・鉄道映画会※ 10:00~12:00 ★20日・新聞紙で変身!※ 11:00~12:00 ☆27日・おはなし会※ 15:00~15:30	●8日・バリアフリー映画会※ 13:30~15:30 ★24日・親子で楽しむ映画会※ 14:00~14:30	★15日・親子で楽しむ映画会※ 14:00~14:30 ★22日・おはなし会クリスマススペシャル※ 15:00~15:30
池袋図書館 ワークルーム (※印は民集会室)	土曜日 14:30	第1水曜日 11:00	★13日・こうさく会 14:30~15:30 ●21日・終活講座※ 14:30~16:00 ☆27日・おはなし会 14:30~15:30	●14日・読み聞かせ講座「おすすめのクリスマスの本」※ 10:30~12:00 ●19日・ふくろう俳句会※ 10:00~12:00 ★24日・ぬいぐるみおとまり会※ 14:30~15:30	★8日・こうさく会 14:30~15:30 ★22日・クリスマス会 14:30~15:30
目白図書館 地下区民集會室	水曜日 15:00	第1水曜日 14:00	☆20日・おはなし会 14:00~14:30 ★25日~27日・ぬいぐるみおとまり会	●3日・イクメン/ひまきかせ講座 14:00~15:30 ★24日・クリスマスこうさく会 14:00~15:00	★15日・クリスマスおはなし会 14:00~14:30
千早図書館 視聴覚室	第3水曜日除く 15:30	水曜日 10:30	☆21日・手話つきおはなし会 15:30~16:00	★18日・ほんのこ工作会「折り紙でクリスマスかざりを作ろう」 15:30~16:00	★16日・冬のスペシャルおはなし会「クリスマス会」 15:30~16:00

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

## ★10月27日は文字・活字文化の日 ~おはなし会のご案内~★

知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現を目指して、平成17年7月に文字・活字文化振興法が制定されました。それに伴い、10月27日を「文字・活字文化の日」と定め、文字・活字文化についての関心と理解を広く深めるための様々な取り組みが行なわれています。区内各図書館では、子どもたちに向けて「**文字・活字文化の日スペシャルおはなし会**」を開催します!

▶詳細は各図書館へお問合せください▶

## 地域研究ゼミナール「池袋のヤミ市 ~マーケットから駅ビルへ~」(全2回)

池袋は、戦後のヤミ市をきっかけに東京の場末から副都心へと成長しました。ヤミ市はどのように生まれ消えていったのか、池袋の戦後史にせまります。

**講師** 石橋督和(いしくれまさかず)氏  
(東京理科大学工学部建築学助教)

**日時** 10月20日(土)、11月3日(土)  
午後2時~4時

**会場** 中央図書館5階会議室

**定員** 40名 **その他** 500円



特別展示 9月29日(土)~11月22日(木)

## 文学講座(後期・全4回) ~読んで観る!映像舞台・原作の世界~

区ゆかりの文学作品、メディアで話題の映像・舞台化の原作や戯曲がテーマ。課題本を読んでから参加をおすすめします。初回課題本…寺山修司「書を捨てよ、町へ出よう」



**講師** 後藤隆基氏  
(立教大学等兼任講師)

**日時** 10月13日(土)、11月10日(土)、12月8日(土)、  
1月12日(土) 午後2時~4時

**会場** 中央図書館5階会議室

**定員** 30名(当日空きがあれば受講可)

**その他** 参加無料、課題本は各自用意してください。

●特別講演会、地域研究ゼミナール●

[申込] 電話・FAX・メール・直接来館  
[問合せ] 中央図書館企画調整グループ  
電話:3983-7861 FAX:3983-9904  
メール:A0027900@city.toshima.lg.jp

## 交流型展示 ひとハコ図書館 「夢の図書館」を作って、語り合おう!

皆さんの考える「ひとハコ図書館」作品を募集します。こんな図書館があったらいいなと思う「夢の図書館」をひとつの箱の中に表現してください。平面でも、立体でも結構です。作品展示期間中、「理想の図書館」をテーマに語り合うカフェタイムをご用意します。

**日時** 11月3日(土) 午後3時~4日(日) 午後4時半  
\*カフェタイム 11月4日(日) 午後2時~3時

**会場** 池袋図書館(事前にお問合せください)

**定員** 20名の方から作品を募集します。

## 街あるき「江戸・駒込村をめぐる」

地域のボランティアガイドによる旧駒込村名所ツアーを開催します。

**日時** 11月11日(日) 午後2時~4時

**主催** 駒込図書館

**定員** 20名

開館時間	中央図書館	駒込・上池袋・千早図書館	巣鴨・池袋・目白図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
平日 午前10時~午後10時 土日祝 午前10時~午後6時	●駒込・上池袋● 平日 午前9時~午後8時 土日祝 午前9時~午後6時 ●千早● 平日 午前9時~午後7時 土日祝 午前9時~午後6時 ※駒込図書館は、平日は、午前8時から資料の返却と、予約資料の受取りができます。	●巣鴨● 平日 午前9時~午後7時 土日祝 午前9時~午後6時 ●池袋・目白● 平日 午前9時~午後8時 土日祝 午前9時~午後6時	平日 午前10時~午後7時 土日祝 午前10時~午後5時	
○は土日祝の開館時間 ■は休館日	10月 日 1 2 3 4 5 6 月 7 8 9 10 11 12 13 火 14 15 16 17 18 19 20 水 21 22 23 24 25 26 27 木 28 29 30 31	10月 日 1 2 3 4 5 6 月 7 8 9 10 11 12 13 火 14 15 16 17 18 19 20 水 21 22 23 24 25 26 27 木 28 29 30 31	10月 日 1 2 3 4 5 6 月 7 8 9 10 11 12 13 火 14 15 16 17 18 19 20 水 21 22 23 24 25 26 27 木 28 29 30 31	10月 日 1 2 3 4 5 6 月 7 8 9 10 11 12 13 火 14 15 16 17 18 19 20 水 21 22 23 24 25 26 27 木 28 29 30 31
11月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
12月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●「ヤミ市」は若い人には興味深いテーマなのだそうです。地域ゼミのお申し込みをお待ちしています。(狩)

**編集後記** 4月より企画調整グループに加わりました。魅力のある発信を続けて、常に皆さまに注目していただける「魅せる図書館」を目指して日々頑張ります!(こりす)

ちはやしんぼじゅうむ  
**千早進歩自由夢**

◆バイオリン演奏会  
**日時** 10月20日(土) 午前10時~正午  
**演奏者** 手嶋佳津子  
**内容** 大人の部(中学生以上) 午前10時~11時 クラシック音楽  
子どもの部(小学生以下・保護者同伴可) 午前11時15分~ アニメ音楽・バイオリン体験など  
**定員** 各部50名先着順

◆講演会 再発見!ぶらり長崎を読み解く  
**日時** 11月4日(日) 午後1時30分~3時  
**講師** 千早地域文化創造館所属ボランティア団体 としま案内人長崎町会員  
**内容** 「ぶらり長崎」、特に千早図書館周辺に在住した著名人について語る。  
**定員** 50名先着順

◆朗読会 それぞれの絆  
**日時** 11月17日(土) 午後1時30分~4時  
**朗読** 千早図書館自主グループ はなしのぶの会  
**内容** 第1部 内海 隆一郎「人々の旅路」より  
第2部 倉本 聰「いつも音楽があった」より  
**定員** 50名先着順

**会場** 千早図書館 視聴覚室  
**問合せ** 千早図書館 ☎ 3955-8361